

科目責任者 薬局実習委員長

■教育目的

薬局の社会的役割と責任を理解・自覚し、地域医療に積極的に参画できるようになるために、保険調剤、医薬品などの供給・管理、情報提供、健康相談、医療機関や地域との継続的な関わりについての基本的な知識、技能、態度を修得する。【卒業認定・学位授与の方針：YD-①～⑥】

■学習到達目標

1. 薬局で取り扱うアイテム(品目)の医療、保健・衛生における役割を理解し、それらの管理と保存に関する基本的知識と技能を修得する。
2. 医薬品の適正使用に必要な情報を提供できるようになるために、薬局における医薬品情報管理業務に関する基本的知識、技能、態度を修得する。
3. 薬局における保険調剤を適切に行うために、調剤、医薬品の適正な使用、リスクマネジメントに関連する基本的知識、技能、態度を修得する。
4. 地域社会での健康管理における薬局と薬剤師の役割を理解するために、薬局カウンターでの患者、顧客の接遇に関する基本的知識、技能、態度を修得する。
5. 地域に密着した薬剤師として活躍できるようになるために、在宅医療、地域医療、地域福祉、災害時医療、地域保健などに関する基本的知識、技能、態度を修得する。
6. 調剤、服薬指導、患者・顧客接遇などの薬局薬剤師の職務を総合的に実習する。

■準備学習（予習・復習）

予習：代表的な薬剤については、一般名と製品名を整理しておくこと。

復習：薬理学、薬物治療学、薬剤学、調剤学、コミュニティーファーマシー並びに事前実習の内容を再度確認しておくこと。

■授業内容

No.	項目	授業内容	SBO コード
実習前	学内オリエンテーション	実習心構え	F(1) ②
1～11	各実習施設にて指導薬剤師指導のもと実習	モデル・コアカリキュラムに沿って実習	F(1) ③ F(2) ①～⑥ F(3) ①～④ F(4) ② F(5) ①～④
実習後	学内報告会	実習報告会	

■課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

実習中の出席状況(事前ガイダンス及び登校日も含む)(25%)、薬局の指導薬剤師による所見・評価(25%)、実習記録の内容・担当教員との事前・事後面談(25%)、実習報告会での発表および出欠席(25%)をもとに総合的に判定する。

■その他

*実習施設により、内容が多少変更になる場合があります。

*指導薬剤師による評価はルーブリックに基づいて行う。